

北相木 議会だより

2019年3月 発行 北相木村議会

発行/北相木村議会 〒384-1201 長野県南佐久郡北相木村2744 TEL 0267-77-2111
発行人/高見澤一好 編集/議会編集委員会 印刷/臼田活版株式会社

No. 18



かなんばれ



目次

- 議長あいさつ・村民の声 2
- 平成30年 第3回・第4回定例会 一般質問 3~6
- 視察報告 6~8

議会だよりに寄せて

議会議長 高見澤 一好



周辺の山々の雪もとけ、春の陽射しを感じる日が多くなりました。インフルエンザが全国的に猛威を振るい、多くの人が苦しみました。当村ではそこまでの感染者は出ずに済み良かったと思います。

さて、議会では昨年11月に沖縄県恩納村へ訪問し、農業交流の一環で川上村が指導しているレタス栽培の様子、電照菊畑の見学、更には沖縄科学技術大学院大学の視察を行ってまいりました。様々な分野に渡っての研究の様子をつぶさに見ることができました。

詳細については各議員の研修報告をご覧ください。



沖縄平和記念公園にて 東シナ海をのぞむ



首里城にて



村民の声

北相木リターン

井出 裕文

中学3年の春、北相木を離れ、両親のいる静岡に転校。

そのまま会社勤めをしておりまして。一足先に帰郷し、元気に農業や趣味を楽しんでいた両親もやがて老境に入り、ある日診療所の松橋先生から「そろそろ生活を共に…」とのアドバイスを頂き、勤めの再延長を断念して、老々介護の不安を胸にUターン致しました。

村には同級生も居り、兄貴分的な先輩諸兄も健在で、更にはいとこ、親戚、親切な人々に囲まれ、不安は自然に解消されました。

しかし両親の老化の波は容赦なく迫って来まして。幸いにも村には老人福祉複合センター「みどり」がありました。職員の皆様は親身になって対応して下さいました。大変ありがたかったです。心強かったです。

優しい声掛けに引き寄せられる様にして、お迎えの車に乗り込み、夕方になる

とにこやかに帰宅する。また、診療所の松橋先生や、看護師さんには定期的に診察して頂き、体調変化など色々ご指導を受ける事が出来ました。

小さな村なれど、心の行き届いたきめ細やかなサービスに喜びと安心感を沢山いただきました。

40年ほど前、祖父母の痛ましい様な介護が胸裏に浮かび「可哀想だなあ」とつくづく思い出しました。

昨今、ますます高齢化が進み、人口減少や村の財政事情も厳しさを増す中、村では生活環境、福祉医療、教育、防災、産業育成等々課題が山積みとなり「めまい」するほどご苦労が多い事と痛感しております。他人事ではありません。

森林組合のスローガンにこんな言葉がありました。

「一人は万人のために、万人は一人のために」

村を良くしていくためには、村民一人ひとりの知恵と実行力が大切と自問自答しております。

議会定例会報告

平成30年 第3回定例会 9月7日に招集された議会は、9月18日までの12日間で開催されました。下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

議案第1号 工事請負契約の締結について（平成30年度北相木村ケーブルテレビ施設更新工事）

議案第2号 平成30年度北相木村一般会計補正予算（第2号）について

議案第3号 平成30年度北相木村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

議案第4号 平成30年度北相木村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について

議案第5号 平成30年度北相木村村営バス事業特別会計補正予算（第1号）について

議案第6号 平成30年度北相木村診療所特別会計補正予算（第1号）について

議案第7号 平成30年度北相木村介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について

議案第8号 平成30年度北相木村介護保険サービス事業特別会計補正予算（第2号）について

認定第1号 平成29年度北相木村一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

同意第1号 監査委員の選任同意について

一般質問

平成三十年九月十八日
議会定例会

中沢 健一 議員

質問

国からの補助金、交付金の減少、見直しの中でわが村に欠かせない診療所、老人センターの維持管理のために、借地の更新時期を期に、借地料の見直しや村有地化、また、1階に診療所、2階に老人センター、3階に保育園等複合施設の検討をすることが必要。

村長

基本的には同じ考え。公共施設は村有地に建設したい。また立替の時には課長会議でも複合施設を検討対象で、次年度以降計画を立てていきたい。

質問

村には借地料の基準価格があるか？高止まりのままできたのでは？

課長

結構幅があった様に感じ

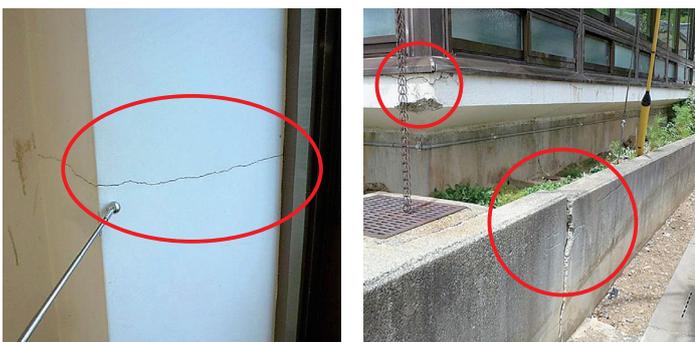
る。わかりやすい賃料体系に変えていきたい。

質問

時流に合った複合施設になれば園児、お年寄りとの交流、また地域の核、村民のふれあいスペースの提供も期待される。建設には国、県からの補助金対象事業も可能。

村長

このアイデアは検討する方向で皆が一致。その時には建設委員会を立ち上げ、その中で検討して行く。



公共施設の老朽化調査を行い、今後の「在り方」について計画を策定

議会定例会報告

平成30年 第4回定例会 12月5日に招集された議会は、12月14日までの10日間で開催されました。下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

議案第1号	南佐久環境衛生組合理約の変更について
議案第2号	南佐久環境衛生組合の財産処分について
議案第3号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	平成30年度北相木村一般会計補正予算（第3号）について
議案第7号	平成30年度北相木村村営バス事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第8号	平成30年度北相木村診療所特別会計補正予算（第2号）について
議案第9号	平成30年度北相木村介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第10号	平成30年度北相木村介護保険サービス事業特別会計補正予算（第3号）について
発議第1号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書について
発議第2号	米軍負担基地負担に関する意見書について
各常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の所管事務の調査の件について	

平成三十年十二月十四日
議会定例会

井出 大広 議員



質問

他町村と比べて停電が比較的多く、その原因は倒木等による電線の障害または隣接する樹木の電線への接触による漏電等が考えられる。

停電に備え、家庭用電池の必要性、またその推進について考えをお聞きしたい。

村長

中部電力と協力して、災害協定の下、電線に影響あるものは村と一緒に除去するという事業を始めた。そういった中で蓄電池の問題は、将来的には考えていきたいが、価格は200万円から100万円台に下がったとはいえ高額であり、また一日二日しか持たない蓄

電の量だという。技術の発展と性能を見ながら対応していきたい。

質問

ハザードマップを見ても、たいていが避難場所は公民館になっているが、実際に停電になった場合は、公民館に避難したとしても何もできないのが実状だと思う。蓄電設備のある家を中心に避難所を確保することもできるのでは。一般家庭の普及を何とかできないものか。

村長

避難拠点は当然で備えたいと思う。また、水と電気はみんなという体制をもとに考えたい。

質問

かねてより村では太陽光発電を推奨し、高い補助率もあり、村の世帯数からするとだいたい4割ぐらいの普及率だ。しかし、気象条件によって設置できなかったところもあるわけで、蓄電池の方がより村民に平等に考えられる案件ではないかと思う。

村長

まだまだ高額で、全戸に

質問
というわけにはとてもいかない。もう少し様子を見たい。いずれはそういう時代が来るかもしれない。

是非とも技術の進捗状況を見据え、いずれ将来的にはそういった方向になるようにお願いしたい。

中沢 健一 議員



質問
公共交通、公用車へのドライブレコーダー設置について。

安全意識の向上を図り、さらなる交通事故防止対策として、まずは役場の公用車等から始め、効果検証の後、村民対象の補助事業としてお考えいただきたい。

総務企画課長

あおり運転、あおられ運転など、連日テレビで話題になるような昨今の交通状

況において、ドライブレコーダーは本当に欠かせないアイテムとなっていることは我々も認識している。まず村営バスから設置して様子を見ていきたい。

個人向けの補助については、ドライブレコーダーがだいぶ普及しているので、村としての補助金は現在はない。

質問

公共交通、バスも設置を優先的にされるということだが、車内のモニターも是非付けるようにお願いしたい。

本日は東名のあおり運転の判決の日だが、ドライブレコーダーは、見守るためにも必要な設備だと思う。村民の方にもどんどん設置を推進していくようなことが必要ではないか。

総務企画課長

庁内で検討していきたい。



峰尾 勝己 議員



質問

わが村でも先日、村民防災学習会が開催され、わが村の消防団そして南部消防署による全国の事例を踏まえた学習会で多くのことを学んだ。災害は必ず起こる。よって災害対策をしっかりとすることが大きなテーマであると思う。

地域の環境等により災害の形もいろいろだが、本村は山津波が考えられる。大雨や地震による土石流、崖崩れ、地滑り、川の氾濫、雪崩など、それらの減災の為に災害が予想される箇所の監視が必要。

そこで提案だが、上空からの監視として費用も安くより細部にわたって監視ができる、ドローンの導入が必要不可欠だと思う。村独

自の防災活動や減災行動の計画の実施にあたり、このドローンの配備はどうか。

総務企画課長

先般の防災学習会に必要な訓練だと思っている。継続して行うことが大事なので、今後も引き続き行っていききたいと考えている。

一番大規模な災害につながりそうなものはやはり風水害であろうかと考えている。まずは風水害対策で地域の皆さんが安全に避難することを中心に考え、防災マップを作成している。避難経路、過去に起きた様子などマップを活用し、訓練を通して自分のものとしてもらえばと思う。

ドローンに関してだが、災害に役に立つものであれば積極的に導入していければと考えている。

今後、中部電力、建築士会、NTT、気象台、土建業者等様々な方面で協定を結んで災害へ万全を尽くす。

質問

ドローンは災害だけではなく、森の管理とか皆伐の状況などもはかれる。自動

車教室でドローンの教習をやっているとのことなので、若い人たちに教習を受けてもらい、できるだけ早いドローンの配備を。

わが村のハザードマップには、黄色や赤の危険な場所が多数あり、避難場所の公民館もかなりの場合で危険だと（先月の学習会で）言われたが、この発言に間違いはないか。

村長

個々に危険度はいろいろある。災害の状況によっても危険度はそれぞれ変わってくる。

質問

早急に数少ない避難場所や避難ルートを模索していく必要がある。その対策や計画はどうなっているのか。

総務企画課長

ハザードマップに危険な地区や逃げ道など載っているの、それに従って想定した訓練をしよう。その中でまたいろいろ現実とそぐわない所等あれば、修正していくとかたきで対応していきたい。

質問

何年か前の大雪の際、山口地区で雪崩が発生し、1日もの間、下新井と白岩地区の交通が止まり、孤立した。雪崩による倒木が原因だった。

同じような災害につながりかねない倒木のある箇所について、今年の冬に間に合うように作業が進んでいくことで安堵した。災害の起こる前に対策の行動をとる。これは防災の鉄則だと考える。

村民の安心安全の暮らしを守っていくことは村長の公約でもある。できる限りの防災や減災を心がけ、村民を守っていく施策、対策をお願いしたい。

進む、電線支障木伐採

議会では定例会や合同委員会、全員協議会の中で、老木や繁茂した樹木による、主要な電線への影響を危惧し、検討がなされてきましたが、11月1日に北相木村と中部電力(株)電力ネットワークカンパニー佐久営業所の間で災害時における相互協力に関する協定



幹線の支障となる支障木伐採作業



支障木は玉切り、適正処理されます

書が締結されました。その中で、電力供給施設に関する保安伐採という項目がございますが、村長と役場担当課より中部電力(株)と協力して、未然に災害を防ぐため、計画的に事業を進めていくと確認しました。

視察報告

議会先進地視察報告

11月12日～14日まで、沖縄県恩納村を中心に視察を行いました。

研修には又吉議会議長様、外間副村長様、佐渡山農林水産課長他大勢の課員の方々に迎えられ、丁寧に対応頂いた中で視察を行ってきました。恩納村は日本屈指のリゾート地で大型リゾートホテルが立ち並んでいます。面積は約51km²で人口は約11,000人、大きな人口変動はなく推移しています。村内は山々に囲まれた自然豊かなところですが3割は軍用地が占めているとのこと。財政面では予算



恩納村 外間副村長より村政の説明

規模が約90億円で財政力指数0.5(町村平均0.29)、経常収支比率も82%(町村平均82.6%)と安定した中で柔軟な村政運営をされている自治体だと感じました。恩納村での先駆的な取り組みについて次の通り視察報告いたします。

レタス栽培視察報告

井出大広

恩納村において、レタスの栽培を行っておりその実情と、課題を研修した。

当日の朝、雷の音で目が覚め、ふと外を見ると横殴りの激しい雨。本日の研修ができたのか心配になった。しかしバスに乗り込み、役場につく頃には雨もやみ、ところどころ青空も見られるくらい天候は回復していった。

ここ恩納村では8年ほど前から、川上村の指導の下、玉レタスの栽培が始まっている。始まった経緯は、川上村にある野菜カット工場における冬の原料調達が主な目的であり、現在約10件程の農家がレタスを栽培している。毎月一週間ほど川上村の直接的な指導を受け、順調に栽培数を増

やしている。圃場へと足を運び、実際の栽培状況を確認。

「思っていたより本格的に栽培している」自分の心の中で少し焦りのような気持ちが出てしまうような、そんなレタスであった。

外葉の大きさ、枚数、色、ともに問題なし。沖縄のように熱い場所ではレタスの栽培を行うのは無理と当初は思っていたが、その心配は完全に払拭された。

圃場は、同じ全面マルチ。私よりマルチシート張り作業は上手。

土壌は、サンゴ礁が隆起してできた島だけに、水はけの悪さ、土壌そのものの硬さなど、普段自分たちが作業している条件より相当悪いような気がした。トラクターなどの設備も同じように揃っていて、栽培を行う準備は完璧そのもの。川上村と恩納村の皆さんの血のにじむような努力が感じられる。

今後の課題として、生産量の安定的な確保と、鳥獣被害の防止が上げられる。生産量の確保及び増産につ



レタス畑にて川上村技術指導者の説明

ただし、害虫については新しい作物のため、私たちが苦慮しているような虫は全くない。病気にしても害虫と同じで、細菌性、ウイルス性の菌がないため肥料を多めに、銅剤での防除でしっかりしたものができている。

最後に、わが村においても設備の補助事業などもう少し力を注いでいただきたいと正直想うと共に、遊休農地解消のため圃場区画整備にも取り組んでいただきたいと感じた。

沖縄科学技術大学院 大学視察報告

坂本 透

議会視察研修では沖縄県の恩納村を訪れました。沖縄県

次に鳥獣被害である。長野県における鳥獣といえば、鹿、猪、猿、狸など哺乳動物が主であるが、ここでは鳥の被害がひどく、その対策に圃場全体にネットを張り、対策している。

したがって大きな設備での作業が難しく、生産効率を上げるのに大きな障害となっている。

の中部に位置する恩納村は、村と言いましても人口は1万1千人ほどの規模があります。南佐久郡全体で1万2〜3千人です。それで結構大きな自治体です。そしてサンゴ礁の広がる美しい海岸線の海と山と文化に恵まれたリゾート地です。大きなホテルもたくさんあります。また南佐久川上村との農業技術交流により本格的な

レタス栽培にも取り組んでいきます。そして化学技術の振興にも力を入れており、今回我々が視察した大学院大学が設置されています。

この沖縄科学技術大学院大学は(1)沖縄の振興と自立的発展、(2)世界の化学技術の発展に資することを目的に設置された大学院大学です。大学院大学とは、学部を置かず大学院のみで構成される大学です。ここでは5年一貫の博士課程のみです。この大学では世界最高水準の教育研究を目的としており、研究者・教員や学生も世界各国(60カ国以上)から集まっています。半分以上が外国人です。そのため教育研究はすべて英語で行われています。



最先端の設備・デザインを採用した巨大キャンパス



大学の概要説明(大学スタッフも通常業務では全て英語を使う)

大学設立が2011年11月とまだ日が浅く知名度は高くありません。教員62名、学生が162名(H29・9時点)、研究者や職員も含めると1100人ほどになります。

建物や施設など素晴らしいものであり相当な資金が積み込まれています。物理学や化学など7つの分野を1つの研究科に集約し学際的研究が行われています。最新技術の開発によりベンチャー企業も設立も行われています。地域に開かれた、そして地域振興にもつながるよう取り組みが行われています。

私立大学ではありませんが、政府が運営資金を提供する特別な大学です。年200億円程ですが、いずれ自立するこ

とを目標としているとのこと。この大学の設立により、地域、沖縄県の振興そして世界の化学技術の発展に繋がっていくことを期待します。

電照菊栽培視察報告

井出法雄

北相木村でも出荷されている菊で、出荷時期は違いますが、沖縄県の電照菊を視察してきましたので報告いたします。

沖縄県では主に小菊が年末需要と、3月彼岸需要に合わせ栽培されています。冬季が温暖な気候なのでそれを活かして、年末と3月彼岸の出荷は、全国の出荷割合を見ますとほぼ沖縄産が占めています。

そのために責任産地として計画を立てた栽培・出荷を行う為、沖縄県で栽培される菊類はほぼ電照によって栽培されています。

電照菊栽培は、昭和12年に愛知県豊橋市で日本最初に行われました。菊は日照時間が短くなると花芽を形成し、やがて蕾となり、開花するという性質があり、その性質を利



露地栽培圃場も視察

用し、花芽が形成される前に人工的に光を当てることにより、花芽の形成と開花時期を遅らせる方法が電照菊栽培です。具体的な栽培工程と電照による効果は、12月出荷用の小菊の電照栽培は、8月中旬頃定植し、定植後は花芽分化を抑制または草丈伸長のため電照を行い、10月上旬に消灯。4日後花芽分芽したところで再電照を行います。12日前後に側芽の成長と着蕾数の増加を促し、その後、最終消灯し4日前後に必要な草丈の確保や分枝位置の伸長期間を経て、花芽を形成させ、12月15日頃から切前基準に達し次第、収穫・選別を行い出荷が行われます。

また、沖縄県では台風被害



電照栽培と台風被害を防ぐためハウス栽培が主流

が多いので、露地栽培だと倒状、曲がり、台風後の樹勢の弱まり等、台風被害の影響を受けやすい為12月出荷分までは、平張ハウス、強化型ハウスなど、ハウスにて栽培する生産が多く、ハウス栽培にするとの事でした。

北相木村でも8月のお盆用、9月の彼岸用に電照菊栽培を導入されている生産者がいます。生産向上と収入増を祈っています。

町村議会議長全国大会 及び視察研修報告

高見澤 一好

平成30年11月21日、東京都NHKホールにおいて、安倍内閣総理大臣、衆参議員議長他多くの来賓出席のもと、第

62回町村議会議長全国大会に参加した後、23日まで熊本県熊本城復興状況視察、長崎県雲仙普賢岳土石流被災家屋保存公園、長崎県長崎平和記念公園、原爆資料館を視察研修してまいりました。

ご存知の通り、平成28年4月14日、16日にかけて発生したM（マグニチュード）7.3熊本地震は、熊本県、大分県で267名の尊い命を奪い、住宅被害も全壊8、668棟にのぼる大災害となつてしまいました。熊本城の復興はいつになるのか、実際のところ想定もできない状況にあります。復旧、復興には道半ばという事で、大変ご苦労されている皆様が大変多くおられることに大変心が痛みました。



熊本城天守閣の復興状況



城内各所で歴史的重要建造物が倒壊

また、視察とは違いますが、九州地方は平成29年にも7月5、6日にかけて九州北部豪雨が発生し、大雨と暴風によって死者が40名行方不明者2名を出す大災害が発生し、この後も中国、四国地方他にも甚大な被害が出てしまったことは記憶に新しいことと思えます。改めて考えますと、大規模自然災害は、今まで無かつたからこれからのないといった、予想は通用しない事態にあります。

よって、日本各地で発生した災害を教訓に、今後は、当村で発生した場合を想定して事前の対策、発生した時の対策、起きた後の対策など考える必要があるのかと感じました。

編集後記

はちみつのお話

はちみつは80%が糖分ですが、砂糖に含まれる糖分ではなく、花の蜜が蜂の酵素によって分解されたブドウ糖と果糖です。素早く体内へ吸収され体や脳のエネルギーに変えられます。糖分の他には水分、ビタミンC、ビタミンB群、ミネラル、アミノ酸、酵素、ポリフェノールなどが含まれます。また、殺菌消毒作用のあるグルコン酸という有機酸も含まれているので、口内炎に効くと言われています。口内炎とは口の中の粘膜が細菌などの影響を受けて炎症を起こしている状態です。はちみつは殺菌消毒作用があるので、患部に直接塗る事で炎症を和らげることができるといふ事です。

はちみつは糖分を多く含むものの、カロリーは砂糖に比べると低くめで、砂糖100gが384カロリーに対し、はちみつは294カロリーなのでうまく取り入れればダイエットや糖尿病予防に役立ちます。

なお、妊婦さんと一歳未満のお子様は、摂らないようにしてください。